

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【公開番号】特開 2019-170576 (P2019-170576A)

【公開日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-041

【出願番号】特願 2018-61020 (P2018-61020)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 13 日 (2021.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 状態と、その第 1 状態よりも遊技球が入球困難な第 2 状態と、
に可変可能な可変入球手段を有した遊技機において、

前記可変入球手段へと入球した遊技球を検出可能な検出手段と、

遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、

前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、

その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記可変入球手段を所定期間、前記第 2 状態から前記第 1 状態へと可変させる可変制御手段と、

前記検出手段によって遊技球が検出された場合に成立し得る所定の設定条件が成立したことに基づいて、特定の状態を設定可能な状態設定手段と、

前記特定の状態において前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて遊技者に有利な特典遊技状態を設定する特典遊技状態設定手段と、を備え、

前記第 2 入球手段は、少なくとも通常の遊技状態において前記第 1 入球手段よりも遊技球が入球し難い構成であり、

前記遊技機は、

遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段と、

所定の払い出し条件が成立したことに基づいて、対応する数の賞球を払い出す払出手段と、

第 1 条件が成立したことに基づいて第 1 遊技状態を設定する第 1 遊技状態設定手段と、を有し、

前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段とは、いずれも前記発射手段によって特定方向へと発射された遊技球が少なくとも入球し得る位置に設けられており、

前記所定の払い出し条件は、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球した場合には少なくとも成立しない条件であり、

前記状態設定手段は、少なくとも前記第 1 遊技状態において前記所定の設定条件が成立

したことに基づいて前記特定の状態を設定可能であり、

前記第1遊技状態は、所定の前記特定の状態よりも、前記可変入球手段が前記第1状態へと可変され易い状態であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難な第2状態と、に可変可能な可変入球手段を有し、前記可変入球手段へと入球した遊技球を検出可能な検出手段と、遊技球が入球可能な第1入球手段と、前記第1入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記可変入球手段を所定期間、前記第2状態から前記第1状態へと可変させる可変制御手段と、前記検出手段によって遊技球が検出された場合に成立し得る所定の設定条件が成立したことに基づいて、特定の状態を設定可能な状態設定手段と、前記特定の状態において前記第1入球手段とは異なる第2入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて遊技者に有利な特典遊技状態を設定する特典遊技状態設定手段と、を備え、前記第2入球手段は、少なくとも通常の遊技状態において前記第1入球手段よりも遊技球が入球し難い構成であり、前記遊技機は、遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段と、所定の払い出し条件が成立したことに基づいて、対応する数の賞球を払い出す払出手段と、第1条件が成立したことに基づいて第1遊技状態を設定する第1遊技状態設定手段と、を有し、前記第1入球手段と前記第2入球手段とは、いずれも前記発射手段によって特定方向へと発射された遊技球が少なくとも入球し得る位置に設けられており、前記所定の払い出し条件は、前記第1入球手段へと遊技球が入球した場合には少なくとも成立しない条件であり、前記状態設定手段は、少なくとも前記第1遊技状態において前記所定の設定条件が成立したことに基づいて前記特定の状態を設定可能であり、前記第1遊技状態は、所定の前記特定の状態よりも、前記可変入球手段が前記第1状態へと可変され易い状態である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難な第2状態と、に可変可能な可変入球手段を有し、前記可変入球手段へと入球した遊技球を検出可能な検出手段と、遊技球が入球可能な第1入球手段と、前記第1入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記可変入球手段を所定期間、前記第2状態から前記第1状態へと可変させる可変制御手段と、前記検出手段によって遊技球が検出された場合に成立し得る所定の設定条件が成立したことに基づいて、特定の状態を設定可能な状態設定手段と、前記特定の状態において前記第1入球手段とは異なる第2入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて遊技者に有利な特典遊技状態を設定する特典遊技状態設定手段と、を備え、前記第2入球手段は、少なくとも通常の遊技状態において前記第1入球手段よりも遊技球が入球し難い構成であり、前記遊技機は、遊技球を遊技領域へと発射可能な発射手段と、所定の払い出し条件が成立したことに基づいて、対応する数の賞球を払い出す払出手段と、第1条件が成立したことに基づいて第1遊技状態を設定する第1遊技状態設定手段と、を有し、前記第1入球手段と前記第2入球手段とは、いずれも前記発射手段によって特定方向へと発射された遊技球が少なく

とも入球し得る位置に設けられており、前記所定の払い出し条件は、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球した場合には少なくとも成立しない条件であり、前記状態設定手段は、少なくとも前記第 1 遊技状態において前記所定の設定条件が成立したことに基づいて前記特定の状態を設定可能であり、前記第 1 遊技状態は、所定の前記特定の状態よりも、前記可変入球手段が前記第 1 状態へと可変され易い状態である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】4 3 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【4 3 5 5】

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 1 1	払出制御装置（第 1 8 実施形態における払出手段）
1 1 2	発射制御装置（第 1 8 実施形態における発射手段）
6 6 0	作動入賞口（第 1 8 実施形態における第 2 入球手段）
6 9 0 4	第 1 特別通過口（第 1 8 実施形態における第 1 入球手段）
6 9 4 0 a	電動役物（第 1 8 実施形態における可変手段）
6 9 5 0	小当たり用入賞装置（第 1 8 実施形態における可変入球手段）
S 2 2 0	第 1 8 実施形態における状態設定手段の一部
S 6 2 3	第 1 8 実施形態における可変制御手段
S 1 1 0 3	第 1 8 実施形態における特典遊技状態設定手段
S 1 3 2 1	第 1 8 実施形態における可変制御手段
S 1 3 4 3	第 1 8 実施形態における状態設定手段の一部
S 1 6 0 2	第 1 8 実施形態における検出手段